

(その遺傳素質の悪い上に)その能力の都合よき發展が阻止されつゝあるのではないか。

三、4の特徴によりて、第二第三類の家庭では、學齡實際の兒童に對しても、左右の關係を教へたり、描くことを練習させたりしてゐないことを示すのではないか。

四、同様に4の特徴によつて、吾等の行つた置換検査のやうな符號に對する器械的記憶の練習が、第二第三の家庭に於て不足してゐること、換言すれば、第二第三の家庭では、學齡實際の兒童に對して文字を教へることの少ないことを示すのではないか。

五、5及び6の特徴によつて、比較的環境の影響をうけないやうな事柄の検査の成績は、第二、第三類の兒童はつねに第一類の兒童に劣つてはゐるが、しかし進歩のたへずあらはれてゐること。換言すれば、第二、第三類の兒童も、家庭で教へられたり、練習させられたりするところは少ないが、遺傳的能力のたへず進歩してゐるのであるといふことを示すのではないか。

六、7及び8の特徴によつて、兒童の知能はそれぞれ要素的のレベルのあるものであるから、先天的

に優劣のある兒童の間にも、ある年齢においては、ある特殊の能力については、同様の能率を示すものであるといふことを示すのではないか。

この外910の特徴についてはどんなことが考へられるか、或はかゝる現象は單に偶然的のものに過ぎないだらうか、臆測を逞ふすることは、暫くひかえなければなるまいと思ひます。

○机邊より

……夕機の空が河を染めてゐる。河沿の途を大人と子供とが行く。「もう歸らうぢやありませんか」と手をひいてゐる女がいふ。「いやア、もつと行かうよ」と手をひかれてゐる子供がいふ。疲れた親は活力に溢れた子供のアスピレーションに水をさす。活力に任ずる子供は疲れた親に同行を強ひる。親と子とが自然の愛によつて結合されたらばお互の因果である。親の手に纏る事なしに河沿の途を遠くへ行く術を知らぬ子供のアスピレーションは運命の反語である。

夕の光は次第に消える。河筋は遠く白く闇の中に浮んで見える。河の面に霧が深くなる。……(「三太郎日記」より)